MITSUBISHI

三菱 加湿機（気化式／卓上型）

形名
エスブイ　ケーケー
SV-KK608

取扱説明書

〈**保証書付**〉 裏表紙に付いています

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

製品登録のご案内

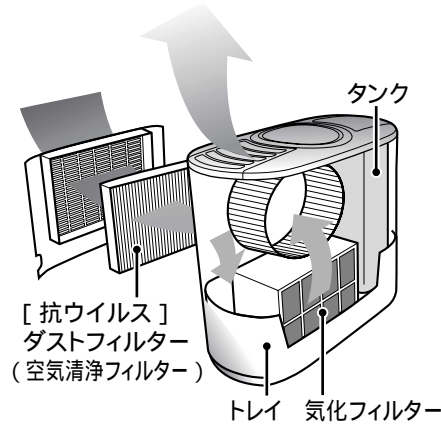
三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる、「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧下さい。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

もくじ

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 裏表紙の「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書（保証書）」は大切に保管してください。

特長

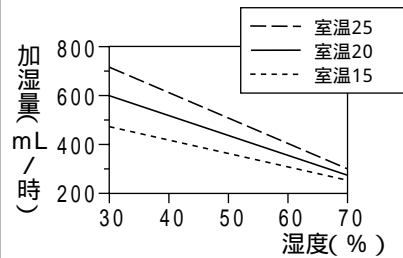
「気化式」は、
水を含ませたフィルターに風をあてて
気化する加湿方式です。

気化式は消費電力が少なく、スチームファン式よりも省電力です。
大風量で、冷たく湿度の高い空気を送り出して、ゆっくりと加湿します。

よくあるご質問

蒸気が出ないけど、加湿してるの？／冷たい風が出るけど？

- 水分を気化させて加湿するため、蒸気は出ません。吹き出す風は冷風です。
- 水分は空気中に完全に溶け込んでいるため、手をかざしても湿り気は感じません。風が当たって寒く感じる場合は、静音（弱）で運転するか、設置場所を変えてください。
- 静音（弱）、連続（強）以外では、間欠運転を行ないます。 P13
目標の湿度に達すると、加湿（送風）を止め、湿度が下がってくると加湿を再開します。

加湿量が少ないのはなぜ？

気化式ですので、次の場合には加湿量が少なくなります。
- 雨の日など、湿度が高いとき
- 室内の温度が低いとき

このグラフは日本電機工業規格（JEM1426）に基づき、室温・湿度を変えて測定した値です。使用する部屋の状態によっては、加湿量が異なる場合があります。

湿度が上がらないのはなぜ？

- お部屋が広いと、湿度が上がりにくくなります。適用床面積を確認してください。
- 窓や出入口の開閉が多いと、換気率が高くなり、湿度が上がりにくくなります。

お手入れしないと、どうなるの？

気化フィルターに水アカが付着し、加湿量が下がります。
また、本体内部にカビ・雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

上手な使いかた

こんなときには、この運転がおすすめ！

こんなときには	運転	内容
お肌のカサカサ予防に	うる肌モード	肌の水分量を保つよう、自動的に運転します。
かぜが流行する時期に	のどガード	のど粘膜の乾燥を防ぐよう、自動的に運転します。
おやすみのときなど、静かに加湿したいときに	静音（弱）	風量 弱でお部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。
ずっと加湿していたいときに	連続（強）	風量 強でお部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。
一定の湿度を保ちたいときに	自動	湿度50%を保つよう、自動的に運転します。

P12~13

P12~13

安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止	指示を守る
分解禁止	水ぬれ禁止	電源プラグを抜く
接触禁止	感電に注意（本体表示）	

⚠警告

幼児の手の届く所では使わない

感電・けがの原因になります。

禁止

吹出口に棒などを入れない

けがの原因になります。

禁止

使用中は持ち運ばない、お手入れをしない

接触禁止

感電の原因になります。

本体を水につけない、水をかけない、直接水をいれない

水ぬれ禁止

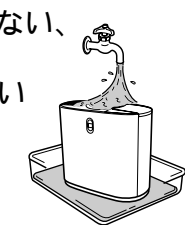
本体内部に水が回りこみ、火災・感電・ショートの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜差ししない

ぬれ手禁止

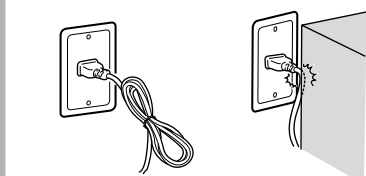
感電の原因になります。

修理・分解・改造はしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。
修理はお買上げの販売店または「三菱電機修理窓口」へご連絡ください。 P23

電源コードを傷つけない

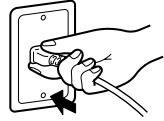
加工しない、束ねない、引っ張らない、上に物をのせない、コードの根元を曲げたまま使用しない

禁止

破損して、火災・感電の原因になります。
（ペットのかみつきにもご注意ください）

AC100Vのコンセントを単独で使用する

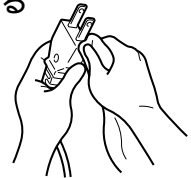
AC100V以外、または他の器具と併用すると火災・感電の原因になります。

安全のために必ずお守りください

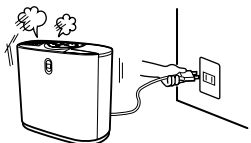
⚠ 警告

電源プラグは根元まで確実に差込む

火災・感電の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

お手入れは電源プラグを抜いてから行なう

感電の原因になります。

定期的に電源プラグのほこりを取る

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

異常時（水漏れ、コゲくさい臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。
運転を停止して、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。P23

⚠ 注意

不安定な場所で使わない

転倒すると、水がこぼれて感電・ショート・水漏れの原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない

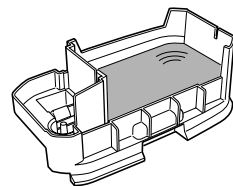
転倒すると感電・ショートの原因になります。

落としたタンク・本体を使わない

そのまま使うと破損箇所から水漏れしてショート・感電・発火の原因になります。
お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。P23

ハンドルを持って振り回さない

落とすとけがの原因になります。

トレイ内の水を飲まない・飲ませない

飲用禁止

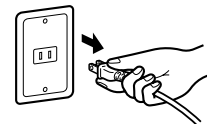
体調不良の原因になります。

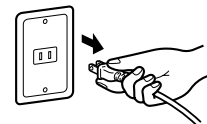
食品や美術品・学術資料などの保存や、業務用には使用しない また、ピアノなどの楽器の保管には使用しない

保存品・保管品の品質低下の原因になります。

タンクやトレイの水は毎日新しい水道水と入れかえる また、本体内部は常に清潔に保つよう、定期的にお手入れする

お手入れせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭・汚れの原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康に良くないことがあります。

電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く

ななめに引き抜いたり、コードを持って引き抜くと、プラグの刃や芯線が破損してショート・感電・発火の原因になります。

使わないときは電源プラグを抜いて排水する

絶縁劣化して漏電火災・感電・水漏れの原因になります。

お願い

製品の破損・劣化・誤動作や物損を防止するために、この欄をお読みください。

水道水以外は使わない

- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水などを使用すると、故障の原因になります。
- ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

吸込口・吹出口をふさがない

故障の原因になります。

こまめにお手入れする P15~18

水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や誤動作・故障の原因になります。付着する水アカの色（白・茶・黒）や固さは、水質によって異なります。

使わないときは水を捨てて気化フィルターを乾かす

3日間以上使用しないときは、タンクとトレイの水を捨て、気化フィルターを乾かしてください。水を入れたまま放置したり、気化フィルターをぬれたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなり、悪臭・汚れの原因になります。
（気化フィルターを乾かすときは、「フィルター乾燥運転」をおすすめします P18）

凍結に注意する

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨ててください。凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

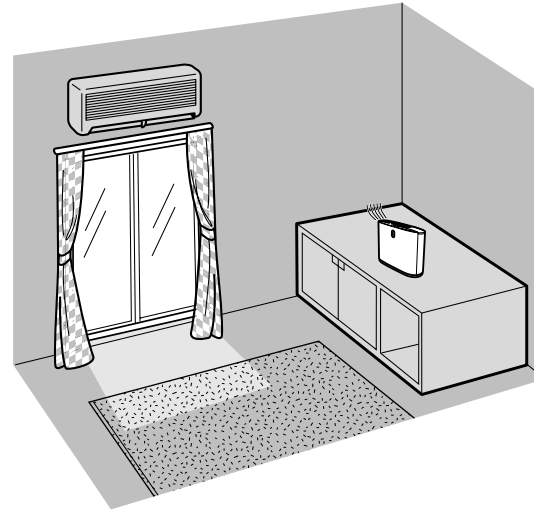
知っておいていただきたいこと

効率良く加湿するポイント

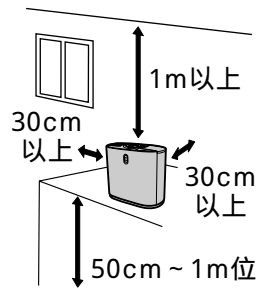
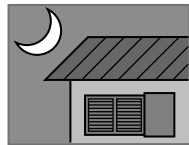
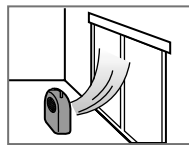
■温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用する

- 直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たらないところ
- 吸気の温度が0～35℃のところ
- 同じ部屋で加湿機を2台以上使うときは、60cm以上離して使用する

■室内の湿度ムラをなくす

床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。空気循環用の送風機（サーキュレーター・エアコン）などを使って、室内の空気を循環させてください。

■室内の結露を防止する

- 加湿機の周囲をあける
  - ○天井から1m以上離す
    吹出す風で、天井が結露しやすくなります。
  - ○壁・窓から30cm以上離す
    壁の温度は室内中央より低いため、結露しやすくなります。
  - ○床から50cm～1m位離す
    湿度の分布ムラを防ぎます。

1m以上
30cm以上
30cm以上
50cm～1m位

- 夜間の加湿は雨戸を閉める
  冷たい外気をシャットアウトし、温度差を小さくします。
  （窓の外側の温度と室温の差が大きいと、結露しやすくなります）

- 窓に風をあてる
  サーキュレーターや扇風機などを使うと、結露をおさえられます。

※状態によっては結露がなくならない場合もあります。

こんなところでは使わないでください

- **暖房機の上や近く、温風や直射日光があたるところ**
  変形・変色の原因になります。また、センサーが誤動作することがあります。
- **家具・壁・カーテン・天井などに、吹出す風が直接あたるところ**
  しみが付いたり、変形・変色の原因になります。
- **電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところ**
  正常に動作しない場合があります。
- **毛足の長いじゅうたんやふとんの上**
  本体が傾いて水がこぼれたり、水位センサーが正常に働かないことがあります。

おねがい

- お子さまやペットが、本体やコードにいたずらをしないよう、ご注意ください。また、つまづかないよう、ご注意ください。けがの原因になります。
- フローリングの床に水をこぼしてしまった場合は、すぐにふきとってください。ぬれたままにしておくと、白く変色する原因になります。

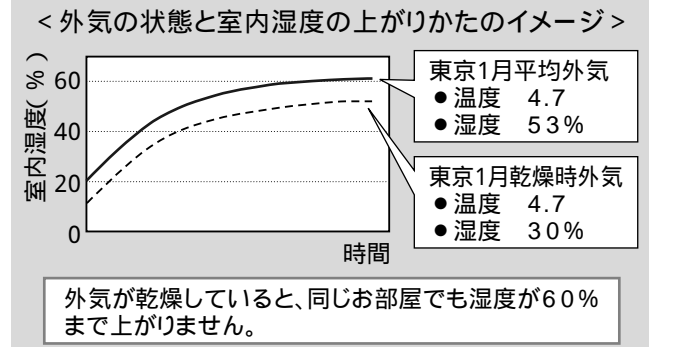
湿度について

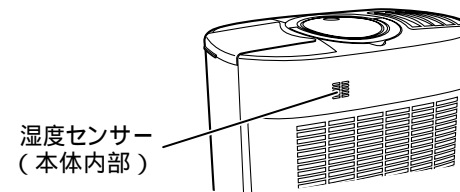
■のどや肌に良い湿度は、55～65%と言われています。

しかし、この湿度を保つと、外気温や室温によっては結露します。結露をおさえながら上手に加湿してください。

■適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の状態（換気率）や外気の乾燥の程度によっては湿度が上がりにくい場合があります。

仕様（22ページ）の「適用床面積」は、日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいた数値であり、「東京の1月の平均気温・湿度のときに、室温20℃の部屋で湿度を60%に維持する床面積」を基準として表記しています。
外気が乾燥していると、60%に設定しても到達しません。

外気が乾燥していると、同じお部屋でも湿度が60%まで上がりません。

現在湿度表示について

■現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度を表示します。

- 運転開始直後は本体内部の温度・湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまでに約10分かかります。
- 同じ室内でも場所によって湿度が違います。ご自宅の状況に応じて設置してください。

■他の湿度計と現在湿度表示が違うことがあります。

湿度計によって測定方法が異なるためです。
市販の湿度計には、大きく分けて2つの方式があります。

方式	応答速度	一般的な有効範囲
バイメタル式 家庭用として普及しているタイプ	やや遅い	35～75% 低湿・高湿の測定が苦手といわれています
電気式 この加湿機で採用	やや速い	30～80%

- 湿度計と当社加湿機とでは応答速度が違うため、同じ場所に置いても±10%程度異なることがあります。
- 有効範囲が異なりますので、30%付近・70%付近では湿度差が生じやすくなります。

気化式とスチームファン式の違いについて

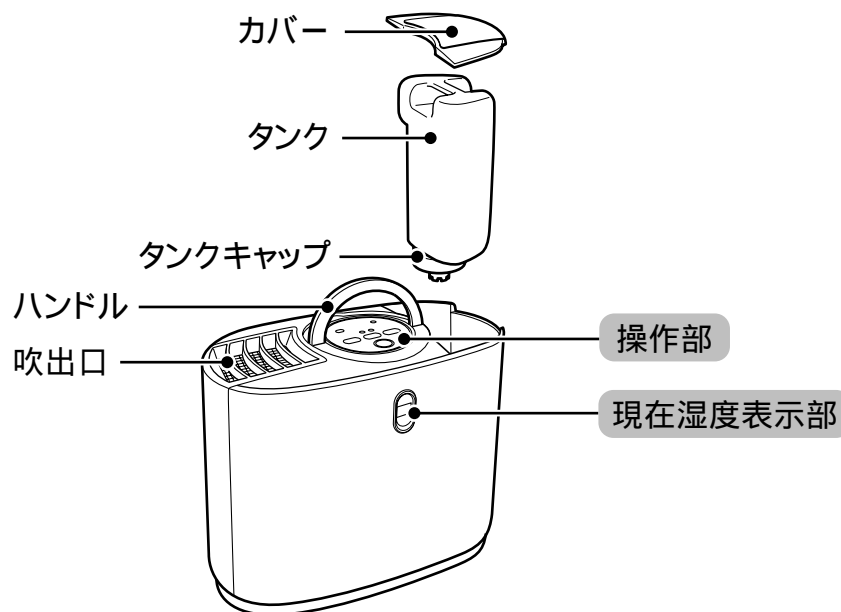
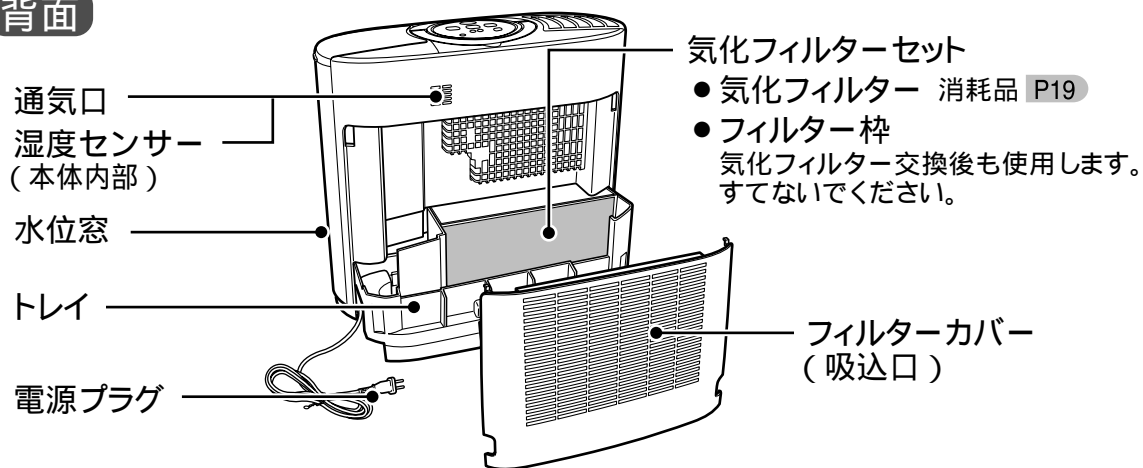
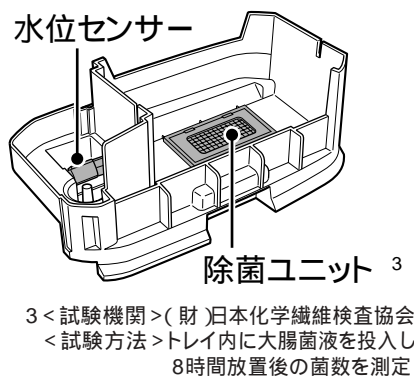
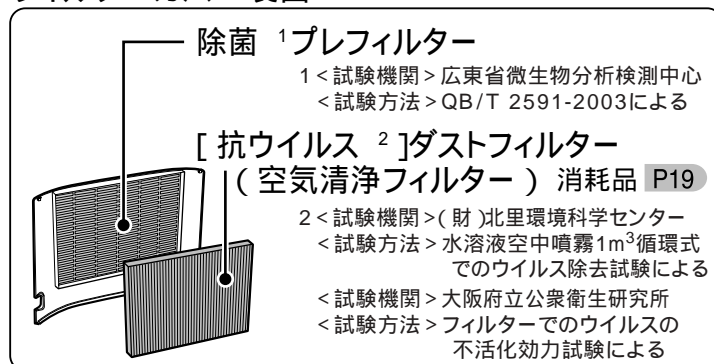
■運転音について

- 気化式は大風量で加湿しますので、スチームファン式にくらべて送風音が大きめです。

■湿度の上がりかたについて

- 気化式は、部屋の温度・湿度によって加湿量が変化します。

各部のなまえとはたらき

本体

トレイ内部

※3＜試験機関＞（財）日本化学繊維検査協会
＜試験方法＞トレイ内に大腸菌液を投入し、8時間放置後の菌数を測定

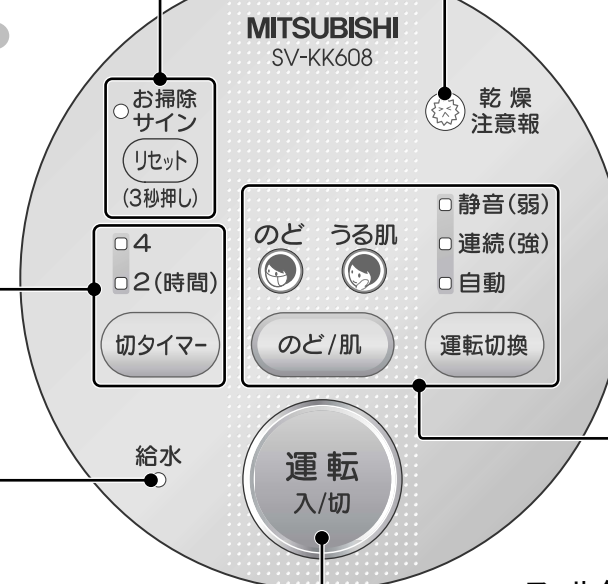
フィルターカバー裏面

除菌※1プレフィルター

※1＜試験機関＞広東省微生物分析検測中心
＜試験方法＞QB/T 2591-2003による

[抗ウイルス※2] ダストフィルター（空気清浄フィルター） 消耗品 P19

※2＜試験機関＞（財）北里環境科学センター
＜試験方法＞水溶液空中噴霧1m³循環式でのウイルス除去試験による
＜試験機関＞大阪府立公衆衛生研究所
＜試験方法＞フィルターでのウイルスの不活化効力試験による

操作部

現在湿度表示部

＜表示例＞

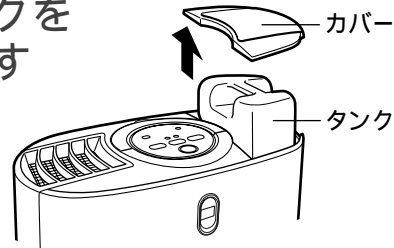
現在湿度表示（めやすを表示）
- 運転中に、現在の湿度を表示。
  表示の範囲は30～80％です。
  ・湿度30％未満のときは「30％」を表示
  ・湿度80％以上のときは「80％」を表示

準備

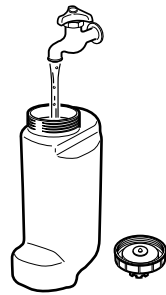
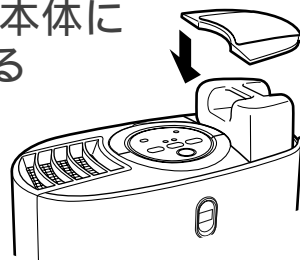
給水する

毎日新しい水と入れかえ、いつも清潔にしてお使いください。

1 タンクを取出す

カバー
タンク

<トレイに水が残っていたら>
フィルターカバーをはずしてトレイを引出し、トレイの水を排水してください。P16
（トレイを引出さずに、本体をかたむけて排水すると、本体内部に水が入り、故障の原因になります）

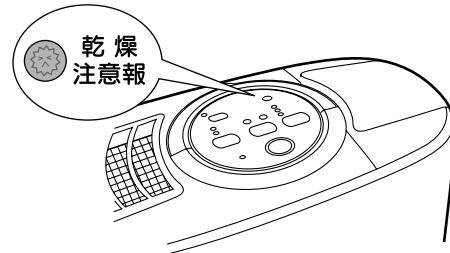
2 給水する

タンクを振り洗いし、水道水を口元までゆっくり入れる

3 タンクを本体にセットする

トレイに水が満たされるまでに、1～2分間かかります。

電源プラグをコンセントに差込む

室内の湿度が低いと、乾燥注意報が働きます。

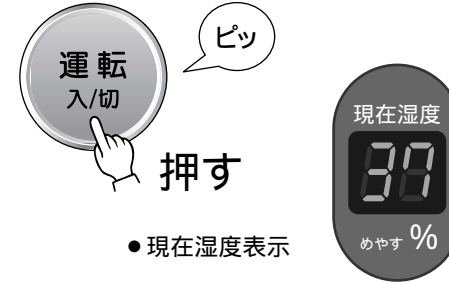
乾燥注意報

乾燥注意報とは
運転「切」のときに、室内の湿度が約40%以下になるとランプが点灯してお知らせする機能です。（音は鳴りません）
加湿するめやすとしてお使いください。

運転「入」でも、次の状態のときには室内の乾燥をランプの点灯でお知らせします。
- 給水ランプ点灯時

おねがい

- 40℃以上のお湯や化学薬品・香料・アロマオイル・汚れた水などを使用すると、変形や故障の原因になります。
- ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- タンクのキャップをしっかり締めてください。締めづらいときは、キャップを1度開ける方向に回し、タンクとかみ合わせてください。
- **トレイ内を清潔に保つため、毎日排水してください。**

運転

運転する

- 現在湿度表示

加湿を始めます。
お好みの運転を選んでください。P12~13

運転開始時には次のような動作があります

- 使いはじめの7分間は、湿度に関係なく強制的に加湿します。
- 現在湿度表示が安定するまで約10分間かかります。

終了する

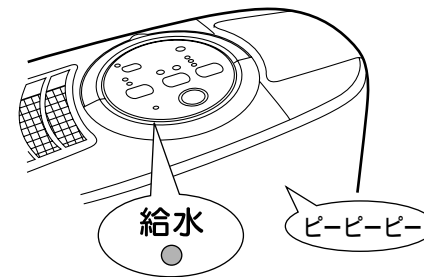
- 現在湿度消灯

運転スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いても、運転モードを記憶しています。

使いかた

給水ランプ

タンクの水がなくなってトレイの水位が下がると、水位センサーが働いて加湿を自動的に停止し、給水ランプの点灯とアラームでお知らせします。

運転スイッチを「切」にし、給水してください。

<続けて運転する場合は>
① 運転スイッチを押して、運転「切」にする
② タンクに給水する
③ もう1度運転スイッチを押して、運転「入」にする

- 切タイマー運転中のときは、給水ランプの点灯のみでお知らせします（アラームは鳴りません）。
- タンクの中に少量の水が残っている場合がありますが、故障ではありません。

おねがい

タンクを取出したときに、トレイ内の水位が変動して給水ランプが点灯する場合があります。その場合は、タンクをセットして運転スイッチを入れ直してください。

運転を切換える

＜のどガード・うる肌モード＞

かぜが流行する時期には「のどガード」、お肌のカサカサ予防には「うる肌モード」をお使いください。より効果的に運転するために、下記の適用床面積の範囲でお使いください。

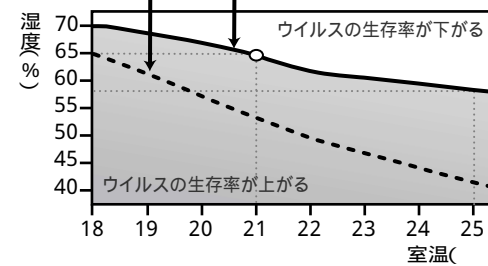
- 選んだ運転のランプが点灯
- 押すごとに切換わります

のどガード・うる肌モード適用床面積

木造和室	〜5畳（$8m^2$）
プレハブ洋室	〜8畳（$13m^2$）

● のどガード

湿度をみはり、間欠運転※をして室温に最適な湿度に加湿し、のど粘膜の乾燥を防ぐ湿度を保ちます。

のど粘膜乾燥湿度を下回ると、のどが乾燥します。
〈ウィンスロー著「温度と人間」より〉

＜例＞21℃のときの目標湿度は65%になります。

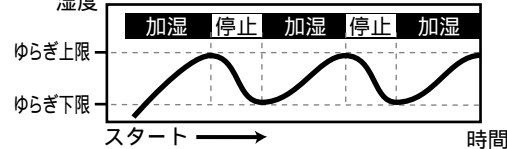
● うる肌モード

お肌に最適な湿度は、温度によって変わります。室温をみはり、間欠運転※でお肌のカサカサ予防に最適なゆらぎ加湿をします。

うる肌モードは、ときどき加湿を停止する**「ゆらぎ加湿」**で、過加湿による部屋のジメジメを抑制しながらお肌にうるおいを与え、静電気によるお肌へのホコリ付着も減らします。

うる肌モード運転時の室温と湿度の関係

室温	ゆらぎ上限	ゆらぎ下限	備　考
17℃以下	75%	65%	室温が低いときは、高めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お肌をしっかりガードします。
18〜24℃	65%	55%	ゆらぎ加湿を行ない、お肌にうるおいを与えます。
25℃以上	60%	50%	室温が高いときは、低めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お部屋の結露を抑制します。

うる肌モード運転のしかた（目安）

- 加湿・停止の間隔や湿度の上昇は、環境によって変化します。

湿度を少し高めに設定しているため、外気温と室温の差が大きいと結露しやすくなります。「効率良く加湿するポイント」 P6 を読んで上手にお使いください。

＜静音（弱）・連続（強）・自動＞

連続して加湿したいときは「静音（弱）」または「連続（強）」、湿度を一定に保ちたいときは「自動」をお使いください。

- 選んだ運転のランプが点灯
- 押すごとに切換わります

● 静音（弱）

温度・湿度に関係なく「風量 弱」で加湿を続けます。加湿量は「連続（強）」よりも少なくなります。 P22

● 連続（強）

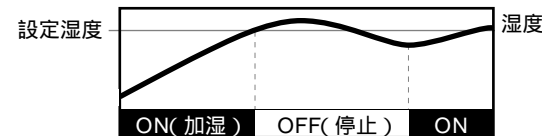
温度・湿度に関係なく「風量 強」で加湿を続けます。

連続加湿をすると、結露しやすくなります。結露しはじめた場合は運転を終了するか、他の運転に切換えてください。

● 自動

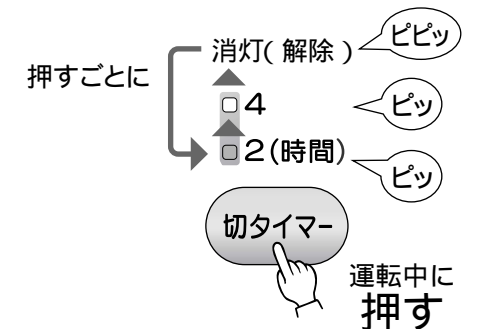
湿度50%を保つよう、自動的に間欠運転※をします。

※間欠運転とは？

目標の湿度に達すると加湿（送風）を止め、湿度が下がってくると加湿（送風）を再開する運転です。

湿度が目標の湿度まで上がると風が止まり、湿度が下がると風が出ます。

切タイマー運転

おやすみのときなどにお使いください。
運転時間を2時間／4時間から選ぶと、選んだ時間で運転したあと、自動的に運転を停止します。
給水してから運転してください。

セットする

- 押すごとに切換わります
- 選んだ時間のランプ点灯（切タイマー運転開始）

- セットした時間が経過すると、運転を停止

ランプの見かた

ランプ	■4 □2（時間）	□4 ■2（時間）
運転残り時間	4〜2時間	2時間以下

切タイマー運転中にタンクの水がなくなると、給水ランプの点灯のみでお知らせします。
（アラームは鳴りません）

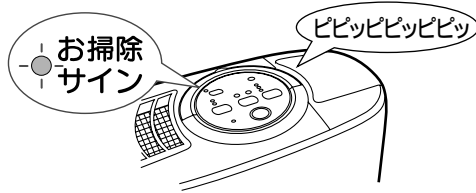
切タイマー運転を途中で解除するときは

運転スイッチを押す。（運転「切」）
または、切タイマースイッチを押す。
（切タイマーランプ消灯）

お掃除サイン

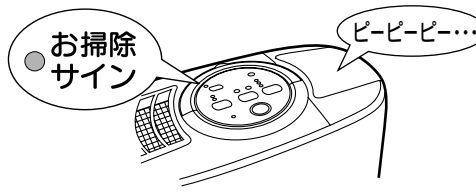
お手入れ時期になると、アラームとランプの点滅、または点灯でお知らせします。
運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてから、お手入れしてください。

お掃除サイン 点滅

電源プラグをコンセントに差込んでから約3週間たつと、アラームが鳴ってランプが点滅します。P16~17

気化フィルターセット・トレイをお手入れしたあと、リセットスイッチを約3秒押して、「お掃除サイン」をリセットしてください。P16~17

お手入れせずに使い続けると・・・

お掃除サイン 点灯

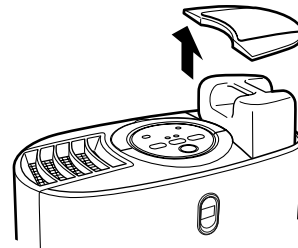
電源プラグをコンセントに差込んでから約4週間たつと、アラームが鳴ってランプが点灯し、運転を停止します。

気化フィルターセット・トレイをお手入れしたあと、リセットスイッチを約3秒押して、「お掃除サイン」をリセットしてください。P16~17

お知らせ
- お掃除サインが点滅または点灯しているときは、運転スイッチを「入」にするたびにアラームが鳴ります。
- 電源プラグをコンセントに差込んでいると、運転「入/切」に関わらず、お手入れ時期に「お掃除サイン」が点滅または点灯します。

持ち運ぶときは

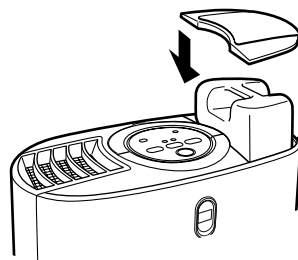
運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、タンクをはずして運んでください。

1 タンクを取出す

必ずタンクを取出してください。

取出さないと、トレイ内の水位が上昇し、水がこぼれることがあります。

2 ハンドルの中央を持ち、静かに運ぶ

かたむけたり、ゆすったりすると、水がこぼれることがあります。

3 本体を設置し、タンクを取付ける

お手入れ

お手入れせずに使い続けると、ニオイ・カビが発生したり、加湿量が低下する原因になります。定期的にお手入れしてください。
お手入れするときは、電源プラグを抜いてください。

お手入れの頻度と場所

頻度		場所	参照
汚れたとき		タンク・本体	P15
週に1回程度		フィルターカバー	P15
○お掃除サイン 点滅または点灯（3～4週間に1回程度）		気化フィルターセット・除菌ユニット・トレイ	P16~17
気化フィルター	ニオイがするとき	台所用合成洗剤でつけ置き洗い	P18
気化フィルター	水アカが取れにくくなったとき	クエン酸でつけ置き洗い	P18
加湿機をしばらく使わないときまたは、保管するとき		フィルター乾燥運転	P18

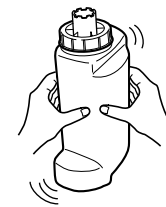
⚠警告
- お手入れは電源プラグを抜いてから行なう。感電の原因になります。
- 本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。火災・感電・ショートの原因になります。

抗菌について

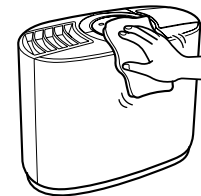
気化フィルター・タンクは、抗菌処理をしてあり、菌の繁殖を抑制します。
抗菌処理をしていても、汚れがつくと抗菌効果が落ちてしまいます。抗菌効果が長持ちするよう、こまめにお手入れすることをおすすめします。

汚れたとき

タンク

少量の水を入れて、振り洗いする

本体

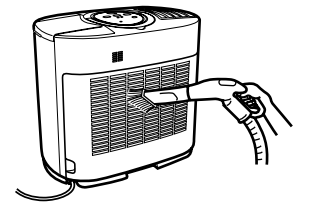
柔らかい布でふく

<汚れがひどいとき>
中性洗剤にひたした柔らかい布を固くしぼってふきとり、からぶきする

おねがい
変質・変色防止のため、ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんはその注意書きにしたがい、使用してください。

週に1回程度

フィルターカバー

汚れがひどくなると、**加湿量が減ったり、送風音が大きくなったり、湿度検知ができなくなります。**こまめに掃除してください。

掃除機でほこりを吸い取る

除菌プレフィルターがすけて見えるまで、ホコリを取ってください。

お掃除サインが点滅・点灯したとき（3〜4週間に1回程度）

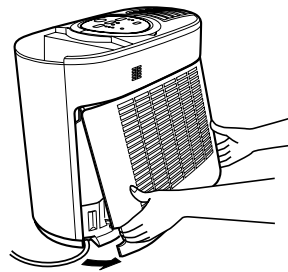
気化フィルターセット・除菌ユニット・トレイ

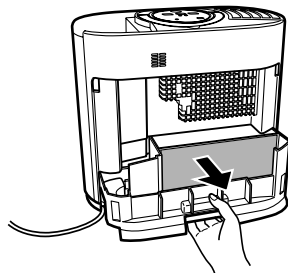
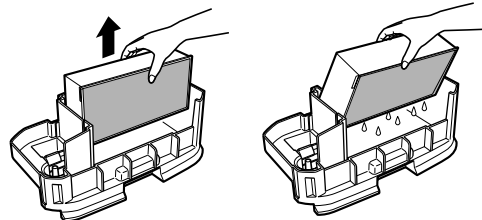
加湿していると気化フィルターに水アカが付着します。水アカを放置すると固くなり、取れにくくなります。固まってしまう前に、3〜4週間に1回程度は必ずお手入れしてください。水アカの色（白・青・茶・黒）や固さは水質によって異なります。

お知らせ
- 水アカは、水道水に含まれているミネラル分（カルシウム・マグネシウム等）が固まりになったものです。
- 水アカが溜まると、加湿量の低下や、送風音が大きくなる原因になります。

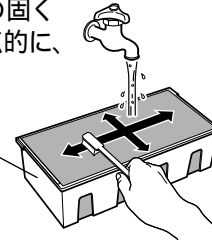
1 カバーをはずし、タンクを取出す

2 フィルターカバーをはずす

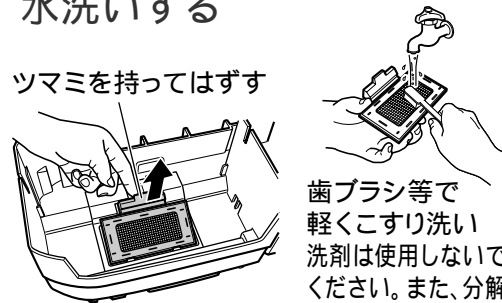
フィルターカバー下側に指をかけて引く

3 トレイを引出し、流し台へ持っていく

タンクを先に取出さないと、トレイが引出せません。

4 気化フィルターセットをはずし、水洗いする

気化フィルターセットをトレイ内でかたむけて、よく水を切る

歯ブラシで、矢印の方向にそって両面を軽くこすり洗いし、よく洗い流す（気化フィルター表面の固くなっているところを重点的に、片面30秒程度）

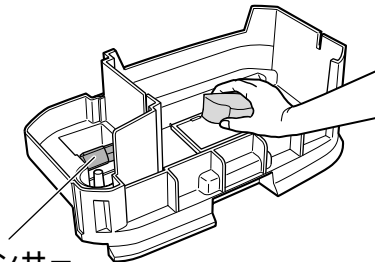
フィルター枠からはずさない

気化フィルターについて
- 新品の気化フィルターは、使いはじめにニオイがすることがあります。異常ではありません。
- 表面に白い水アカが残っていても使用できますが、2シーズン毎に交換してください。P19
- 気化フィルターからニオイがする場合は、市販の台所用合成洗剤でお手入れしてください。P18

5 除菌ユニットをはずし、水洗いする

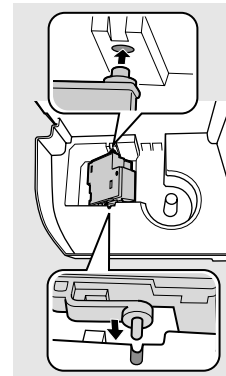
ツマミを持ってはずす

歯ブラシ等で軽くこすり洗い
洗剤は使用しないでください。また、分解しないでください。

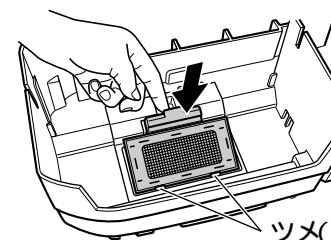
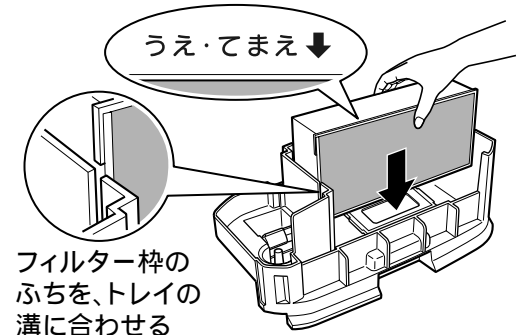
6 トレイの水を排水し、水洗いする

スポンジや歯ブラシで洗う
それでも汚れが落ちないときは、薄めた台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぎ洗いをしてください。

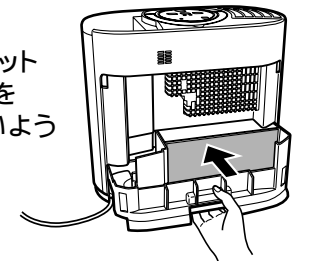
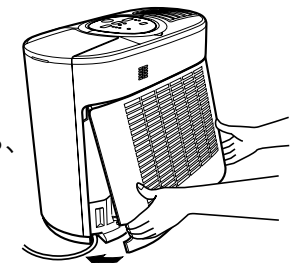
トレイやトレイの水に、気化フィルターの顔料の色がついている場合があります。

水位センサー
取りはずさない、強く押さない
（誤動作・故障の原因になります）

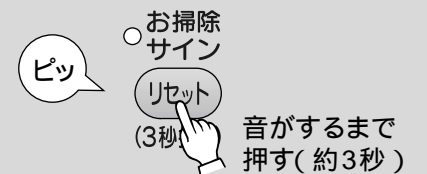
水位センサーがはずれたときは

①突起を取付ける
②バネ側の突起を、溝に合わせて「カチッ」と音がするまで押し下げる
③水位センサーが、軽く上下に動くことを確認する

7 除菌ユニットをトレイに取付ける

ツメ（2カ所）をかけてから、ツマミを押し込む

8 気化フィルターセットをトレイに取付ける

フィルター枠のふちを、トレイの溝に合わせる

9 トレイ・タンク・カバーをセットし、フィルターカバーを取付ける

トレイを先にセットし、電源プラグをはさみ込まないように取付ける

フィルターカバー上側のツメを本体にかけてから、下側を押込む

10 電源プラグを差し込み、お掃除サインをリセットする

音がするまで押す（約3秒）

リセットしないとお掃除サインは消灯しません。

気化フィルターのつけ置き洗い

次の場合は、つけ置き洗いをしてください。

ニオイがするとき	水アカが取れにくくなったとき
台所用合成洗剤でつけ置き洗い つけ置きタイプの「台所・水まわり用合成洗剤」をお使いください。 顆粒状、弱アルカリ性	クエン酸でつけ置き洗い クエン酸は薬局・薬品店でお買い求めください。

・漂白剤は使用しないでください。
・「つけ置きタイプの洗剤」と「クエン酸」を一緒に入れないでください。

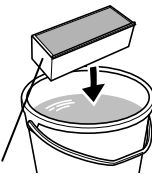
はずしかた・取付けかたの手順 P16~17

1 ぬるま湯に洗剤、またはクエン酸を入れて溶かす

＜使用量＞
洗剤：洗剤の取扱い指示にしたがう
クエン酸：水1Lあたり10g
洗剤とクエン酸は、一緒に入れないでください。

40℃以下のぬるま湯
バケツ、または洗面器

2 フィルターセットをつけ置き洗いする

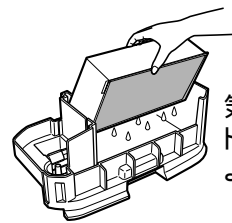
＜つけ置き時間＞
台所用合成洗剤：約2時間
クエン酸：約4時間
フィルター枠からはずさない

3 気化フィルターをすすぎ洗いする

バケツの水を2～3回替え、充分に洗剤を落とす

お知らせ
● 気化フィルターの色が落ちて、フィルター上部が白っぽくなったり、トレイに色がつくことがありますが、性能には問題ありません。

フィルター乾燥運転

4時間の送風運転で、本体内部の気化フィルターを乾かします。
加湿機をしばらく使わないときや、保管するときは、フィルター乾燥運転で気化フィルターを乾かすことをおすすめします。（気化フィルターをぬれたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖する原因になります）

1 気化フィルターの水気を切る P16~17

気化フィルターセットをトレイ内でかたむけて、よく水を切る

2 タンク・トレイの水を排水する

3 タンク・トレイを本体に取付ける

タンクには水を入れないでください。
タンクに水が入っていると、フィルター乾燥運転を行ないません。

4 電源プラグをコンセントに差込む

運転スイッチは入れないでください。

運転「切」の状態で
5 「ピッ」と音がするまでのど/肌スイッチを押す

音がするまで押す（約3秒間）

● 現在湿度表示部に 88 が点滅し、フィルター乾燥運転開始
（約4時間後に運転停止）

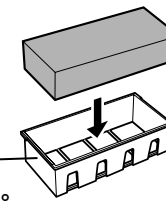
次の場合は、フィルター乾燥運転を行ないません。
・「運転 入」のとき
・タンクに水が入っているとき
（現在湿度表示部に U3 を表示） P21

消耗品の交換

交換時期がきたら、新しいものと交換してください。
交換時期は、使用環境により異なります。

気化フィルターの交換

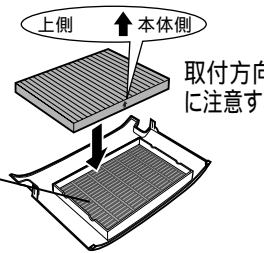
● 交換の目安は、4シーズン（約24ヵ月）です。交換せずに使い続けると、加湿量の低下、雑菌・カビの繁殖、送風音が大きくなる原因になります。
● 次のようなときは、4シーズン以内でも交換してください。
  ● お手入れしてもニオイ・水アカが取れないとき
  ● 傷みがひどいとき
  ● カビが繁殖したとき

本体からフィルターセットを取出し P16~17、フィルター枠から気化フィルターをはずして交換する

フィルター枠は廃棄しないでください。

空気清浄フィルターの交換

● 交換の目安は、2シーズン（約12ヵ月）です。
● 次のようなときは交換してください。
  ● 汚れがひどくなったり、いやなニオイがしてきたとき

フィルターカバーを取りはずし P16~17、空気清浄フィルターをはずして交換する

取付方向に注意する

除菌プレフィルターは取りはずさないでください。

消耗品

●交換用 **気化フィルター**
●形名　SVPR-112FT
●形名コード　56N 157

●交換用 **［抗ウイルス］ダストフィルター（空気清浄フィルター）**
●形名　SVPR-109FT
●形名コード　56N 132

お買上げの販売店、またはお近くの「三菱電機修理窓口」にお問合わせください。 P23

保管と廃棄

保管するとき

トレイ・タンクの水を排水し、気化フィルターを乾かしてから保管してください。
本体内部に水が残っていたり、気化フィルターがぬれていると、雑菌やカビが繁殖し、2シーズン目には使用できなくなります。

1 お手入れする P15~18

気化フィルターを、クエン酸で「つけ置き洗い」してから保管することをおすすめします。 P18

2 気化フィルターを乾かす

「フィルター乾燥運転」をおすすめします。 P18

3 本体内部・トレイに残った水滴をふき取る

風の当たらない部分（除菌ユニットの裏側等）には水が残ります。
除菌ユニットをはずし、トレイ・除菌ユニットに残った水をふき取ってください。

4 本体を、お買上げ時の包装箱に入れるか、ポリエチレン袋などで包み、保管する

高温になるところを避け、湿気の少ない所で保管してください。

廃棄するとき

各自治体のゴミ捨て規則にしたがって、廃棄してください。

● 気化フィルター
材質：パルプ、PET、アクリル

● 空気清浄フィルター
材質：ポリプロピレン繊維、ポリエステル

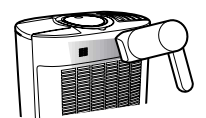
● 本体　分解せずに、ゴミ捨て規則にしたがって廃棄してください。

故障かな？と思ったら

下記の症状については、原因•処置方法の欄をお読みください。

状態		原因・処置方法
● 加湿しない（運転しない） ● タンクの水が減らない		● 湿度が高くなっていませんか。（特に、夜中は自然に湿度が上がりやすいです） →目標の湿度に達すると加湿を止め、湿度が下がってくると加湿を再開します。 P12~13 ● 電源プラグがはずれていませんか。 →電源プラグをコンセントに差し込んでください。 P10 ● 気化フィルターに水アカが付着していませんか。 →お手入れしてください。お手入れしても水アカが取れないときは、クエン酸でつけ置き洗いをしてください。 P15~18 ● フィルターカバーが目づまりしていませんか。 →お手入れしてください。 P15
	給水 ○ 点灯	● タンクの水がなくなっていませんか。 →タンクに給水し、運転スイッチを入れ直してください。 P10・11
	○お掃除サイン 点灯	● お手入れ時期になったことをお知らせしています。 →お手入れしてください。 P14
湿度	湿度が上がらない	●「静音（弱）」で運転していませんか。 →他の運転に切換えてください。 P12~13 ● 気化フィルターに水アカが付着していませんか。 →お手入れしてください。お手入れしても水アカが取れないときは、クエン酸でつけ置き洗いをしてください。 P15~18 ● フィルターカバーが目づまりしていませんか。 →お手入れしてください。 P15 ● 室温が低いときは、湿度が上がりにくくなります。 P2 ● 部屋が広すぎませんか。→適用床面積の範囲でお使いください。 P22 ● 窓や出入口の開閉が多いと能力不足となり、湿度が上がりにくい場合があります。 ● 部屋の壁材•床材や木製の家具が乾燥状態にある場合は、湿度が上がりにくくなります。 →3〜4週間様子を見てから、湿度が上がるかご確認ください。 ● 窓や天井が結露していると、湿度が上がらない場合があります。
	湿度が高くなっても運転が止まらない	●「静音（弱）」「連続（強）」で運転していませんか。 P13 ● 直射日光や暖房機の温風が直接本体にあたっていませんか。 →正しい設置場所で使用してください。 P6
	加湿機の現在湿度と他の湿度計の表示が違う	● 同じ部屋でも、場所によって湿度差があるためです。 P6~7 ● 加湿機の湿度センサーと湿度計では、精度や湿度の変化に対する応答の速さなどが違うため、同じ場所に置いても±10%程度異なることがあります。 P7 ● フィルターカバーが目づまりしていませんか。 →お手入れしてください。 P15
	現在湿度がいつも高い	● 北側にある部屋や、浴室などの水回りに近い部屋には湿気がこもりやすいため、湿度が高い場合があります。 P6~7 →風通しの良いところで運転しても状態が変わらないときは、下記の方法で湿度センサーが正常か確認してください。

湿度センサー確認方法 <使用するもの：ドライヤー>

運転中に、ドライヤーを通気口 P8 から15cm程度離し、温風を約1分間当てる。（ドライヤーに出力切換がある場合は、「弱」で）

湿度表示が下がってくれば正常です。下がった後、しばらくすると湿度表示が上がることも確認してください。

※本体の温度異常検知により、現在湿度表示部に U2 が点灯した場合には、約10分間待ってから、再度運転スイッチを「入」にしてください。

状態		原因・処置方法
「ボコボコ」と音がする		● タンクからトレイに水が供給されるとき、タンクの中に空気が入る音です。
ニオイが出る		● 新品の気化フィルターは、使いはじめにニオイがすることがあります。異常ではありません。 ● 気化フィルター•トレイが汚れていませんか。 ● お部屋やタバコのニオイが気化フィルター•空気清浄フィルターに付着して、ニオイが出ることがあります。 <気化フィルター> こまめにお手入れしてください。 P16 <空気清浄フィルター> 風通しの良いところで半日以上天日干しすると、ニオイが弱くなる場合があります。ニオイが取れない時は、空気清浄フィルターを交換してください。 P19
気化フィルター	粉のようなものが付着している	● 水アカの結晶です。水アカの色は、水質により白•青•茶•黒などになります。 →こまめにお手入れしてください。 P16~18
	変色している	● 気化フィルターに水アカや汚れが付着して変色することがありますが、性能には問題ありません。 →気化フィルターをお手入れしてください。 P16~18
タンクに水が入っているのに、給水ランプが点灯する		● 水位センサーがひっかかっていませんか。 →水位センサーの周りのゴミを取除き、水位センサーを取付け直してください。 P17 ● 給水したタンクをセットしたあと、運転スイッチを入れ直しましたか。 →ランプ点灯後に給水したときは、運転スイッチを入れ直してください。 P11
タンクの水がなくなっても、給水ランプが点灯しない		水位センサーがひっかかっていませんか。 →水位センサーの周りのゴミを取除き、水位センサーを取付け直してください。 P17
○お掃除サイン 点滅または点灯		● お手入れ時期になったことをお知らせしています。 P14 →お手入れしたあと、リセットスイッチを音がするまで（約3秒間）押してください。 P16~17
デジタル表示	88 めやす% 点滅	● フィルター乾燥運転中です。 P18
	U2 めやす% 点灯	● 吸気の温度が0°C以下、または35°C以上になっていませんか。（暖房機の温風が本体にあたっていませんか。） →吸気の温度が0°C〜35°Cのところに設置し、運転スイッチを入れ直してください。 P6 ● 壁やカーテンに近すぎませんか。→正しい設置場所で使用してください。 P6
	U3 めやす% 点灯	● タンクに水を入れたままで、フィルター乾燥運転をしていませんか。 →フィルター乾燥運転したいときは、タンク•トレイの水を排水し、再度、フィルター乾燥運転してください。 P18 加湿したいときは、運転スイッチを入れ直してください。 P11
	A1 A6 E0 E1 どれかを表示	● 故障です。 運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23

上記の処置をおこなっても状態が直らなかったり、異常表示が消えない、また水が漏れる場合は、運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23

仕様

形名	SV-KK608	
電源	単相100V　50/60Hz	
消費電力＜最大＞（定格電流）	50Hz	60Hz
	20W（0.2A）	25W（0.25A）
加湿量※1	強：570mL/h　弱：340mL/h	強：600mL/h　弱：290mL/h
連続運転時間※1	強：約7時間　弱：約11.5時間	強：約6.7時間　弱：約13.5時間
運転音※2	強：39dB　弱：27dB	強：39dB　弱：27dB
適用床面積（木造和室／プレハブ）※3	～10畳（16m²）／～16畳（27m²）	～10畳（17m²）／～17畳（27m²）
のどガード・うる肌モード運転時	～5畳（8m²）／～8畳（13m²）	
待機電力	約0.1W	
タンク容量	約4.0L	
電源コード長さ	1.8m	
寸法（高さ×幅×奥行き）	384×430×220mm	
質量	6.0kg	
安全装置　渇水時自動運転停止装置	トレイの水位が規定値より低下すると、運転を停止します。	
安全装置　室温異常時自動運転停止装置	吸気が0℃以下になったり35℃以上になると、過加湿防止のため運転を停止します。室温が0℃を超え35℃未満の範囲になったとき、運転スイッチを入れなおすと復帰できます。	
安全装置　過電流防止装置	何らかの異常で、基板の回路に過電流が流れた場合は、この安全装置（電流ヒューズ2A）が作動して全停止します。自然復帰はしません。	

※1　加湿量・連続運転時間は室温20℃、相対湿度30％を持続する室内で運転した数値です。
※2　運転音は本体周囲1mで測定した平均値です。
※3　適用床面積はJEMA（日本電機工業会）規格（JEM1426）に基づく値です。

保証とアフターサービス

■保証書（裏表紙に付いています）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日から１年です
ただし、気化フィルター・［抗ウイルス］ダストフィルターは消耗品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この加湿機の補修用性能部品を製造打切り後、6年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（右一覧表）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- **「故障かな？と思ったら（20～21ページ）」**にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

●修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●修理部品は
部品共用化のため、共通色に変更する場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱 加湿機
2. 形　　名　SV-KK608
3. お買上げ日　　年　月　日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
   ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

全国どこからでも おかけいただけるフリーコール
0120-139-365
いつも サンキュー　365日（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX（03）3413-4049（有料）	（03）3414-9655（有料）

■ご相談対応　平日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

地域	県	窓口
北海道・東北	北海道	東日本フロントセンター
	宮城	東日本フロントセンター
	青森	青森（017）773-8381
		八戸（0178）28-8544
	岩手	盛岡（019）637-7454
		水沢（0197）25-4511
	秋田	秋田（018）865-4471
		横手（0182）32-1785
		大館（0186）42-2781
	山形	山形（023）624-0018
		鶴岡（0235）24-6161
	福島	郡山（024）959-6543
		会津（0242）27-4426
		原町（0244）24-2842
		いわき（0246）26-1822

地域	都県	窓口
関東・甲信越	東京／神奈川／千葉／茨城／埼玉／栃木／群馬／山梨／新潟／長野（飯田地区を除く）	東日本フロントセンター
	長野（飯田地区）	西日本フロントセンター
東海	静岡	東日本フロントセンター
	愛知／三重／岐阜	西日本フロントセンター
北陸	石川／富山／福井	西日本フロントセンター

地域	府県	窓口
関西	大阪／奈良／和歌山／兵庫／京都／滋賀	西日本フロントセンター
中国	広島／山口／島根／鳥取／岡山	西日本フロントセンター
四国	香川／徳島／高知／愛媛	西日本フロントセンター
九州・沖縄	福岡／佐賀	東日本フロントセンター
	長崎	長崎（095）834-1116
		佐世保（0956）30-7740
	熊本	熊本（096）380-0211
		八代（0965）33-5173
	大分	大分（097）558-8803
	宮崎	宮崎（0985）56-4900
		延岡（0982）21-3540
	鹿児島	鹿児島（099）260-2421
	沖縄	沖縄（098）898-3333

●東日本／西日本フロントセンター

フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）
インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
東日本フロントセンター FAX（03）3424-1115（有料）	（03）3424-1111（有料）
西日本フロントセンター FAX（06）6454-3900（有料）	（06）6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K07B

愛情点検	★長年ご使用の加湿機の点検を!	加湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

ご使用の際にこのようなことはありませんか	●コゲくさい臭いがする。 ●水漏れする。 ●本体が異常に熱い。 ●運転中異常な音がする。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止	故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295　埼玉県深谷市小前田1728－1

ZT790D090H01